

令和 5 年度 (上期・下期) 助成事業報告書

| | | | |
|------|--------------------------------------|------|------------|
| 団体名 | ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団 熊本公演2023実行委員会 | 設立年月 | 2022 年 9 月 |
| | | 団体人数 | 60 人 |
| 事業名 | ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団熊本公演 2023 | | |
| 実施日時 | 2023 年 12 月 26 日 (火) 19 時 | 参加人数 | 約 1,900 人 |
| 会場 | 市民会館シアーズホーム夢ホール大ホール | | |

活動内容・活動成果

ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団による今回の日本ツアー計 17 公演の中で、唯一の実行委員会形式での開催。本公演には満員の約 1,500 人に来場いただいた。

オープニングでは、NHK 熊本児童合唱団が、ウクライナフィルの演奏に乗せてウクライナ国歌を斉唱。難しいウクライナ語も完璧にマスターし、美しい歌声を届けた。

続く本編では、第一部でドヴォルザークの交響曲第九番「新世界より」、第二部でベートーヴェンの交響曲第九番「合唱付き」を披露。指揮者のミコラ・ジャジュラ氏が、エネルギーあふれるオーケストラをリードし、「合唱付き」ではこの日のために結成された熊本の合唱団約 300 名が平和への気持ちを込めて「歓喜の歌」を歌い上げた。最後はスタンディングオベーションと鳴り止まない拍手で閉幕。公演後も多方面から「感動した」「心が震えた」等のお言葉をいただいた。

また実行委員会ならではの企画として、ウクライナから避難されている方々をご招待。ロビーでは平和を祈るパネル展を開催し、劇場外でもウクライナフィルの皆さんの熊本駅到着時に、必由館高校の和太鼓部の皆さんに歓迎演奏を披露していただいた。サプライズ演出だったため、涙を流して感動されている楽団員の方もいらっしゃった。公演終了後、指揮者のジャジュラ氏も、「駅に到着した時の歓迎太鼓が忘れられない、熊本はすごい」と話されていた。

音楽を通して、みなさんの平和を願う思いが一つとなった公演だった。

日時：2023 年 12 月 26 日 (火) 18:15 開場 19:00 開演 21:15 終演

指揮：ミコラ・ジャジュラ

出演：ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団

テチアナ・ガニーナ(ソプラノ) アンジェリーナ・シュヴァツカ(アルト)

ドミトロ・クズミン(テノール) セルギイ・マゲラ(バリトン)

ウクライナ熊本第九 2023 合唱団 NHK 熊本児童合唱団 (ウクライナ国歌斉唱)

プログラム：

- ・ドヴォルザーク交響曲第 9 番「新世界より」
- ・ベートーヴェン交響曲第 9 番「合唱付き」

ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団熊本公演 2023
収支支出決算書

・ 2024.1.31 現在

収入

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 説明 |
|---------------|------------|------------|--|
| チケット売上 | 9,400,000 | 10,848,000 | S : 891 席 x8,500 円=7,573,500 円 A : 472 席 x6,500 円=3,068,000 円 (A 学生:59 席 x3,500 円=206,500 円) 合計 10848,000 円 |
| 企業協賛 | 1,600,000 | 1,600,000 | SYSKEN グループ |
| プログラム広告 | 150,000 | 310,000 | 5 万円 x1 社=5 万円 2 万円 x5 社=10 万円 1 万円 x16 社=16 万円 |
| 助成金 (110万) | 2,250,000 | 1,170,000 | 熊日文化スポーツ基金(250,000 円) 熊本放送(300,000 円) 21 ファンド(620,000 円) |
| 個人寄付 | 300,000 | 0 | |
| 記念写真 | 250,000 | 0 | |
| 合計 | 13,950,000 | 13,928,000 | |

支出

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 説明 |
|-----------------|-----------|-----------|---|
| 1 オケ出演料 | 8,000,000 | 8,500,000 | 交響楽団招聘パッケージ |
| 2 謝礼 (合唱団) | 700,000 | 836,000 | 声楽講師 47 万円 ピアノ伴奏 24 万円 ソリスト 26,000 円 NHK 熊本児童合唱団 10 万円 |
| 3 旅費・交通費 | 1,000,000 | 738,812 | 運営事務局 54 万円 合唱特別講師 (東京～熊本) 198,812 円 |
| 4 チケット販売 手数料 | 0 | 637,586 | チケット販売手数料 597,450 円 その他手数料 40,136 円 |
| 5 会場使用料 | 1,000,000 | 976,750 | 市民会館ホール 488,930 円+設備 122,650 円 県立劇場ホール 94,380 円+46,740 円 +6,000 円 健軍文化ホール 81,600 円+設備 81,750 円 国際交流会館 51,500 円 中央公民館 3,200 円 |
| 6 委託費 | 480,000 | 722,500 | 受付業務 50,000 円 医療スタッフ (看護師) 1 名 10,000 円 運営補助 5 名 50,000 円 引率スタッフ 1 名 30,000 円 カメラマン 1 名 20,000 円 委託費 518,500 円 (公演制作費、チケット 管理費、ステージマネージャー、受付ス タッフ、チーフ) 印刷物デザイン 44,000 円 |
| 7 広告宣伝費 | 1,000,000 | 276,600 | RKK 220,000 円 熊日写真 6,600 円 Docosa 50,000 円 |

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 説明 |
|-----------|------------|------------|---|
| 8 制作費 | 55,000 | 476,960 | WEB制作・サーバー 220,000円 イベント企画費 220,000円 CD作成費 36,960円 |
| 9 印刷製本費 | 320,000 | 448,560 | 封筒類 45,100円 コピー240円 チラシ印刷 75,420円 吉本美術 30,800円 プログラム（編集合） 297,000円 |
| 10 通信/運搬費 | 100,000 | 118,426 | ハガキ・切手・レターパック類・運搬費 118,426円 |
| 11 会議費 | 55,000 | 70,885 | 制作発表会 実行委員会 17,150円 事務局会議 53,735円 |
| 12 雑費 | 240,000 | 124,859 | 消耗品 12,000円 ケータリング 10,091円 ゴミ処理代 1,100円 オーケストラ・スタッフお弁当 97,708円 振込手数料 3,960円 |
| 13 余剰金 | 0 | 62 | |
| 合計 | 12,950,000 | 13,928,000 | |

平和祈る「第九」 ウクライナと共に 熊本市

師走の風物詩「第九」に平和への祈りを込め、ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団の熊本公演が26日、熊本市市民会館シアーズホーム夢ホール(中央区)

で開かれ、県内外の有志合唱団約300人と共にベートーベンの「交響曲第9番」の「歓喜の歌」を響かせた。

【20面に詳報】



ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団の演奏に合わせて、ベートーベンの「交響曲第9番」を歌う合唱団=26日夜、熊本市市民会館シアーズホーム夢ホール (小野宏明)

(第3種郵便物認可)

熊本市 本日

ウクライナに届け「歓喜の歌」



力強く美しいハーモニーで響かしたウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団=26日夜、熊本市市民会館シアーズホーム夢ホール (小野宏明)

同フィルの来熊は3度目。つた1992歳の合唱団員たちで、単独公演としては2001年は3月から練習を始め、本落り年以來と度目。公演で集まに備えた。

【1面参照】

国立フィルと有志合唱団共演 熊本市

熊本市

この日は、同フィル音楽監督のニコラ・ジャンジョラさん、ウクライナ人のソリス

とも出演。力強く美しいハーモニーで、観客の総数約1500人を魅了した。NHK熊本県民放送局にもウクライナ国歌演奏や、ドボルザーク「交響曲第9番」(熊本市)の演奏もあった。

【続方李咲】

玉東町の避難民7人招待



会場でグッズやお菓子を販売するウクライナ避難民ら (小野宏明)

公演には、ロシアの軍事侵襲が続くウクライナから避難し玉東町で暮らす人たちが招待され、7人が会場を訪れた。開演前にはロビーでバザーを開き、国旗の青と黄色を使った四角やハート形の手作りキホルダーや母国のお菓などを販売、来場者と交わせた。笑顔で応対していた。

【続方李咲】

不撓不屈の魂を音楽にのせて、熊本の合唱団300人と共演!

ウクライナ国立 フィルハーモニー 交響楽団

熊本公演
2023

Program

A.L.ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」

L.v.ベートーヴェン：交響曲第9番「合唱付き」

指揮：ミコラ・ジャジュエラ

管弦楽：ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団

ソプラノ：テチアナ・ガニーナ / アルト：アンジェリーナ・シュヴァツカ

テノール：ドミトロ・クズミン / バリトン：セルギイ・マゲラ

ウクライナ熊本第九2023合唱団 / NHK熊本児童合唱団（ウクライナ国歌斉唱）

2023 **12/26** 18:15開場
(火) 19:00開演

市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本市市民会館）

チケット料金
全席指定・税込

S席8,500円・A席6,500円・学生席3,500円

※学生席は大学生以下で25歳未満が対象。A席エリアで100枚限定。

チケットぴあ、ローソンチケットにて販売。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

[プレイガイド]

チケットぴあ（Pコード：252-336）

ローソンチケット（Lコード：82760）

市民会館シアーズホーム夢ホール

熊日プレイガイド 大谷楽器

[チケットのお問合せ]

コモド・アート・プロジェクト

096-288-4635（平日 10:00-18:00）

info@comodo-arts.com

9/7(木)より
一般発売
開始

[主催] ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団熊本公演2023実行委員会 / 事務局 ukrphil.kmt@gmail.com

[共催] 熊本県国際協会、市民会館シアーズホーム夢ホール、JICA九州 [助成] 公益信託熊日文化スポーツ基金

[後援] 熊本県、熊本市、玉東町、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県文化協会、熊本日日新聞社、NHK熊本放送局

RKK、TKU、KKT、KAB、FMK、FM791

[特別協賛]

 **SYSKEN**
GROUP

— 武器はいらない。なぜなら私たちには楽器があるから。私たちの武器は音楽 —

と強い決意を込めて語る音楽監督のミコラ・ジャジューラ。2005年の初来日以来、毎回絶賛を博し「スラブ最高のオーケストラ」と評価を確立したのがウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団です。平時の2019年ツアーでも、武蔵野市民文化会館で最速完売記録を樹立したほか、各地でソールドアウトが続出している人気の交響楽団。熊本公演2023では、300名規模の熊本の有志と共に、平和の賛歌を歌い上げます。熊本も幾多の困難に遭遇しながら、不屈の心で故郷を再生してきました。今この時、決して屈さぬウクライナと熊本の魂を「歓喜の歌」に乗せて届けます。



指揮：ミコラ・ジャジューラ

1961年キーウ生まれ。1980年からキーウのチャイコフスキー音楽院に学び、指揮法をロマン・コフマンに師事。在学中の86年から88年までロシアのオムスク・フィルハーモニー交響楽団の音楽監督を務める。1987年東京国際、88年ブダペスト国際各指揮コンクール受賞、小澤征爾からタングルウッドのサマーアカデミーに招かれ、バーンスタイン、プレヴィン等の指導を受ける。1988年シェフチェンコ記念キエフ国立歌劇場正指揮者、89年ソウル交響楽団首席指揮者を歴任、96年ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団音楽監督に就任。旧ソ連邦諸国を始め、ヨーロッパ、アメリカ、アジア等で幅広く演奏活動を行い、篤実な人格で多くの尊敬を集めている。



ソプラノ：
テチアナ・ガニーナ



アルト：
アンジェリーナ・
シュヴァツカ



テナー：
ドミトロ・クズミン



バリトン：
セルギイ・マゲラ

*出演者の変更になる可能性があります

ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団

1995年ウクライナのキーウに本拠を置く国立フィルハーモニー協会の専属オーケストラとして創設される。同国の巨匠ロマン・コフマンの指導下、1996年には若手の第一人者ミコラ・ジャジューラが音楽監督に就任、フィルハーモニーのライセンコ・ホールで年間50回以上の定期公演を行うほか、旧ソ連を含むヨーロッパ全土から客演に招かれている。特にドイツとフランスでは近年人気が高く、ベルリン、ミュンヘン、ケルンの各フィルハーモニー、パイロイトの大劇場等でチャイコフスキー、ラフマニノフ等を演奏するほか、数日間に渡ったロワールの音楽祭コンサートは、ハイビジョンでフランス全土に放映され大きな反響を呼んだ。ペンデレツキ、テオドラキス等の作曲家、クレームル、パシュメット、クライネフ、ヴィルサラーゼ、パドゥラ・スコダ、アッカルド等著名演奏家との共演も数多く、東欧における最も優れたオーケストラとして評価を確立している。

合唱：県内外50団体以上の有志約300名／合唱指導：岩本貴文、小野郁子、春日保人、春日信子／合唱ピアニスト：永野麗子

[ごあいさつ]

熊本の皆さまに東ヨーロッパ最高峰であるウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団の音楽をお届けできることを、大変嬉しく思います。現在、私は熊本県立劇場の館長を務めておりますが、現職に就いたのはちょうど熊本地震が発生した2016年でした。劇場を取り巻く環境は激変し、その後も新型コロナウイルスの感染拡大を受け、芸術文化活動の場は大きな制約を課されました。しかし、芸術や文化は私たちの心に欠かせないものです。この熊本の地でしっかりと芸術・文化、芸能の出番を作っていきたいという思いで、現在に至っています。今、ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団を熊本に招致することは、様々な意味において意義があると感じています。本公演では、ドヴォルザークの交響曲第9番ホ短調 Op.95『新世界より』と、ベートーヴェンの交響曲第9番ニ短調 Op.125『合唱付き』が演奏されます。『合唱付き』では、本公演のために約300名の熊本の有志の合唱団が結成されました。ウクライナの音楽家や熊本の皆さまにとって、明日への希望と力が湧き出るような「第九」になると信じています。この混乱した時代にあっても、芸術・文化の灯は守り続けたいと切に願っています。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団 熊本公演2023実行委員会 実行委員長 姜 尚中

ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団 熊本公演2023実行委員会 (五十音順)

実行委員長：姜 尚中／実行委員会世話人：小野友道、河村邦比兎、吉丸良治

実行委員会：鮎川久雄、荒木正博、出田敬三、出田節子、出田秀尚、井上智重、猪本耀子、入部祥子、笠場よしえ、大江捷也、小川久雄、小川芳宏、笠原慶久、春日幸雄、川口みさき、河津延雄、神田一伸、樹原涼子、木之内均、久我彰登、小堀俊夫、境 正子、坂口洋一朗、佐久間伸一、世良喜久子、副島 隆、竹内圭介、竹屋元裕、堤 裕昭、野村俊巳、八戸和男、原幸代子、伴 征子、平江純一、平野有益、福田 稔、藤間富士斎、古川寛子、松下純一郎、松本充右、光永尚生、宮尾 尚、宗田英成、村上輝和、目黒純一、山懸ゆり子、山崎崇伸、山田千明、笠日出臣

事務局長：春日信子／事務局：尾上香織、小野田美緒、木村久美子、朽木恵子、田中浩子、永野麗子、島山志津子